２０周年記念誌　第2回MTG　（Zoom）

日時　；２０２２年1月１０日（月）　1９:０0～2１:２５

参加者：枝原 幸美（記）、佐藤 美和子、長谷川 晴次、森田 穂三郎　　（あいうえお順）

20:00より　青木英二　も参加　　（敬称略　以下の文章中も略）

　≪４名でスタート≫

1. 共有フォルダ　にある　２０周年記念誌分担・取り纏め管理表に従って

　各章の進捗状況の確認。

　　・章立ての組み換えを検討したほうが良いのではないかという話になった。

　　・柚原先生、木枝副学長、杉原さんへの寄稿依頼、さらにプッシュする。

　　・会員の声　アンケート回収率は１/３程度。

　　　　　　　　各地区の回収状況情報を長谷川さんより各地区担当者に伝え、

それぞれの地区の定例会でさらなる協力依頼を呼びかける。

　　　　　・会員の声のデータは、現在共有フォルダに集約させているが、

２０周年記念誌とは別途、なんらか冊子に編集してはどうか。

　　　　　・工房の事業については、リーフレットと１５周年記念誌P.8に書かれてある内容などを検討し、安田さんか相川さんに確認をした方がよいかもしれない。

　　　　　・体験塾会場の拡大は、今井さんの作成分データを共有フォルダにアップを依頼する。

　　　　　・体験塾テーマの広がりと開催状況のところでは、休眠中もしくは廃止されたテーマに関しては触れなくてよい。当該年度にスタートしたテーマに関してカウントする。

　　　　　　廃止されたテーマとはせずに、休眠中の表現に統一し、テーマ集の最後のページに

　　　　　　休眠中のテーマとして掲載する。

　　　　　・最後の挨拶部分を、１５周年記念誌まで相川さんが担当されていたので、

相川さんに寄稿を依頼してみる。

1. 編集を依頼する業者の連絡先を、堀江さんに確認中。

　≪ここから青木さん　参加≫

1. A４版かB5版　問題

　編集委員の意見としてはデータ量が増えていて漏れなく表現するにはA4にする必要がある。

運営会議では保守的意見が多くA4には抵抗があった。

ただ論理的にB5が良いとの主張ではなく、「ただ本棚に収まりが良い、10年15年誌の流れに合ってる」等の主張である。

よって、何故A4にする必要があるかを論理的に説明する文書が有った方がよい。

 4.

　UDデジタル教科書体に関しては、２０周年記念誌に関しては、編集が始まって

しまっているので、今回は採用せずに、

　　　　　他の、当日のプログラムや案内等、編集や作成が始まっていないものに関して

　　　　　採用していってはどうか。

以上